

林業と他の仕事を組み合わせ 半林半Xにチャレンジ!

市は、自ら森林を管理して林業経営を行う「自伐林業」を実践しながら、他の仕事でも収入を得る「半林半X」という新たなライフスタイルを目指す中山間地域への移住者を募集し、支援する「半林半X移住者支援事業」を行っています。

園農林整備課(☎504-2249、☎504-2259)

森を守り育てるために

中山間地域の大部分を占める森林では、戦後一斉に植林された人工林が成熟期を迎えています。林業の担い手不足のため、一部が手付かずのままになっています。

一方で、都市部に住んでいる人の中には、自然の中で働くことの素晴らしさを感じている人が増えています。

そこで、市は、中山間地域への移住者を林業の担い手として育てると



枝打ち(不要な枝を切る)を行う土岡さん

もに、移住者の半林半Xというライフスタイルを発信することでさらなる移住者を呼び込み、地域の活性化を図る「半林半X移住者支援事業」を行っています。

半林(自伐林業)と半X(やりたい仕事)

昨年、半林半Xというライフスタイルを目指す移住者を募集し、奥村明尚さん(33)と土岡幸さん(46)の2人が選ばれました。昨年5月、奥村さんは西区から佐伯区湯来町水内地区へ、土岡さんは西区から安佐北区



木の伐採の練習を行う奥村さん

白木町井原地区へそれぞれ移住。これから3年間かけて研修などを受け、林業の技術習得を図りながら、さらに林業以外の仕事(半X)の足場づくりに励んでいく予定です。

森づくりについてご相談を

「ひろしまの森づくり県民税」の財源を利用して、市民による森づくり活動を応援しています。

- 荒れた森の手入れをしたい
- 子どもが遊べる森をつくりたい
- 森の整備に関する指導をしてもらいたい

森づくりに関する情報は『ひろしま森づくりコミュニティネット』へ



伐採作業の指導



森づくりコミュニティネット 検索

Voices

自然への感謝を忘れない
佐伯区湯来町水内地区で研修中の奥村さん

里や森、山と関わっていきたくと思ったきっかけは、湯来町に移住した知人が行う林業の仕事を手伝ったことでした。



林業は大変なことも多いですが、森林組合や地域の方からの厳しくも温かい声掛けが、いつも励みになっています。

木々や山肌の景色、街へとつながる山あいの川などを間近で見ながら研修ができる環境に、いつも身が引き締まる思いです。自然への感謝を忘れずに山に入るということを、しっかりと肝に銘じておこうと思いました。

また、夏の盆踊りや川の清掃など地域の行事にも参加し、地域との絆が深まっていくことを実感できてうれしく思います。

林業は体力勝負なので、しっかりと体調管理を行い、自伐林業家として自立できるように多くのことを学



ぶとともに、林業以外の仕事にも励んでいきたいです。

あなたの住むまちの情報をインターネットで発信 ホームページを作りませんか

地域の情報を掲載したホームページを作りたいけれど、どうすればよいか分からない。そんな悩みを抱える町内会などの地域団体の皆さんへ、自分たちの地域のホームページを簡単に作成できる「こむねっとひろしま」を紹介します。

園市民活動推進課(☎504-2131、☎504-2066)

「こむねっとひろしま」とは

まちの魅力のPRや地域活動の活性化を目的とした地域のホームページを作成することができるシステムです。すでに、町内会・自治会、連合町内会や地区社会福祉協議会など、約70の地域団体が、このシステムを利用してホームページを開設しています。



地域の情報共有に役立ちます

地域団体の活動状況や行事予定など、回覧板や町内掲示板でお知らせしている情報を、ホームページに掲載することにより、地域の皆さんがいつでも気軽に見ることができます。

市HP こむねっとひろしま 検索

※広島広域都市圏に参加する各市町の町内会・自治会などの情報も見ることができます

初めてでも大丈夫!

開設のポイント

- マウス操作と文字入力ができるれば、簡単にホームページが作成できます
- 「パソコン」と「インターネットへの接続回線」があれば、専用のソフトやサーバを準備する必要はありません
- 無料で利用できます。市が利用料金を請求することはありません(インターネット接続にかかる通信料は各自で負担)
- 市職員が開設をサポートします

説明会を行っています

こむねっとひろしまの概要・操作説明会の申し込みを随時受け付けています。また、ホームページ作成の学習用デモサイトで練習もできます。詳しくはお問い合わせください。

園市民活動推進課(☎☎上記)

地域情報満載!
わがまちのホームページ

まちのアルバム

楽しい思い出をみんなで共有

まちのお知らせ

回覧板の情報をホームページで

まちのカレンダー

行事予定の周知に活用

Voices

地域の絆がさらに強く

黄金山地区社会福祉協議会 事務局長 さかはらたかし 坂原立士さん(68)

黄金山地区社会福祉協議会では、作成や管理の経費がかさむなどの理由でホームページの開設を断念していましたが、市の事業で「こむねっとひろしま」というものがあることを知り、念願のホームページを開設することができました。

作成にあたっては、ほとんど苦勞を感じることはありませんでした。地区の各団体も協力してくれて、行事の写真などの情報をたくさん提供してもらっています。また、地域の皆さんからも、「町内の掲示板まで行かなくてもよくなった」「自分たちの団体のイベント情報も掲載してほしい」などの声を頂き、やりがいがあります。

ホームページの作成というと、専



門的な知識が必要で、その上経費もかさむというイメージがありますが、「こむねっとひろしま」を利用すれば比較的簡単にホームページを作ることができます。「こうあるべき」というものはないので、形式にこだわらず、地域独自の情報をどんどん発信していけばきっと良いものになりますし、ホームページがきっかけで住民同士のつながりができるなど良い循環が生まれ、地域の絆がさらに強くなったと感じています。